

SHIRAKOBATO

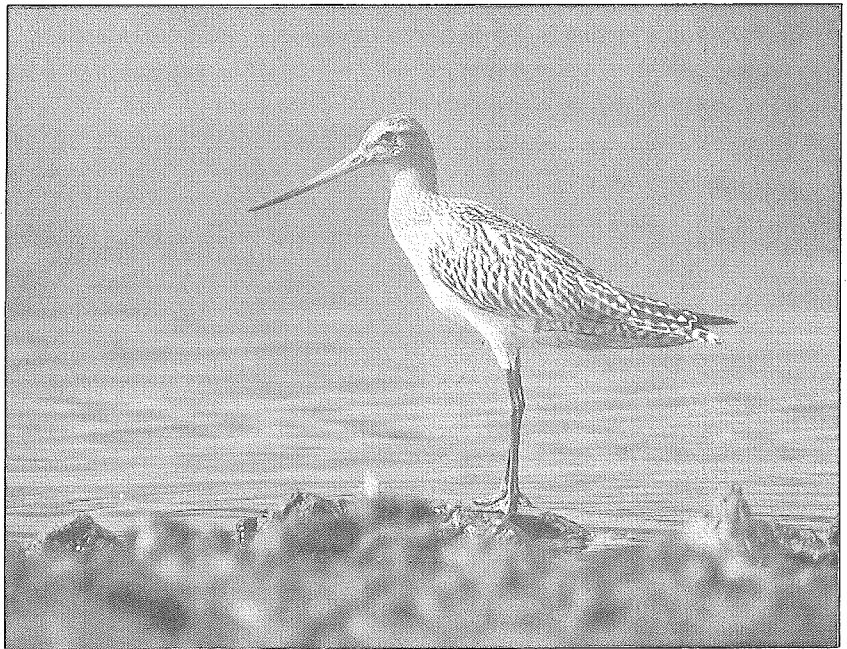
しらこぼと



1992. S

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 99

日本野鳥の会 埼玉県支部

総会報告 松井昭吾新支部長就任

6月28日（日）浦和市内埼玉会館にて支部総会が開かれて、健康上の理由でかねてから申し出のあった鈴木忠雄支部長の辞任が承認され、続く役員会で、新支部長としては、松井昭吾副支部長が選出されました。

鈴木忠雄前支部長の挨拶

私は健康上の理由で支部長を辞任することになりました。役職というものは、最後までしがみつくものではないと思っていますので、余力をもってやめる決心をしました。私は、新撰組が大好きです。新撰組が長く続いたのは、マナーとか隊則を重んじたからだと思います。この支部も、近藤勇に相当する松井新支部長、土方歳三に相当する海老原副支部長のもと、結束して、ますます強力な支部にしていきたいと思っています。私も今後は顧問として協力させていただきます。最後に皆さんのご健勝を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

平成4年度役員

〔顧問〕 今井昌彦 堀越照雄
鈴木忠雄

〔支部長〕 松井昭吾

〔副支部長〕 海老原美夫（事務局長・総務部長）

〔幹事〕 石井幸男 伊藤芳晴
榎本秀和 岡安征也 笠原伸子
北川慎一 草間和子 楠見邦博
黒田佳子 小荷田行男（研究部長）
小林みどり（野鳥記録委員長）
佐久間博文 杉本秀樹
田口浩司 立岩恒久（新） 手塚正義
登坂久雄 内藤義雄
中島康夫（普及部長） 乗田実
長谷部謙二 馬場昇（新） 林

滋 林慎一（新） 菱沼一充 福井恒人（事業部長・埼玉県鳥獣保護員） 藤原寛治 町田好一郎
三田長久 森本國夫 柳原正昭（新） 山部直喜（編集部長） 吉原俊雄 渡辺周司

〔監事〕 石川敏男 楠見邦博

熊谷市の諏訪隆久さんは、数年間ホンコンに転勤。その間幹事お休みです。

松井昭吾新支部長の挨拶

皆さんも御存じのように、私は支部長というような役職というのは非常に苦手な人間なのですが、今回鈴木前支部長が健康上の理由で退任されるということで、何回もご辞退申し上げたのですが、結果としてお受けすることになりました。

たいしたことはできませんが、私としては、皆さんと一緒に、埼玉県支部の素晴らしい雰囲気、これは全国の支部に対して誇りうるものだと思いますので、これを中心にして、皆さんのお力によってやっていきたいと思っています。

よろしくご支援をお願いします。

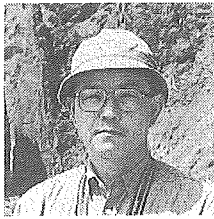


松井新支部長（左）から鈴木前支部長（右）に記念品贈呈

新役員のご紹介

立岩恒久（桶川市）

来年のゴールデンウィークには『ゴジウカラ』とも見修めとなります。いよいよ毎週の探鳥会で野鳥を見たり聞いたり、皆様方の顔も見られるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いします。



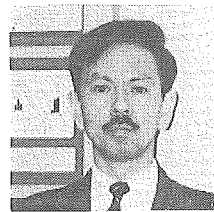
馬場 昇（大宮市）

戦後の復興に続く高度成長で、毎日仕事仕事で過ごして来ました。やっと現役を離れ、自然に親しむようにとこの会に入りました。野鳥を通じて皆様と語り合える楽しさは、本当にいいものです。未熟ですが、これからも一層楽しい探鳥会にする様、また自然を護る様、努力したいと思います。



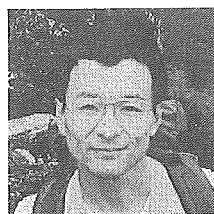
林 慎一（大宮市）

環境問題、エコロジ一等々の言葉が巷にあふれておりますが、地球環境よりも職場環境、家庭環境問題に忙殺され、虚しく日々が過ぎ去っていく今日このごろですが、それでも夏休暇にはどこに行こうか、どんな鳥が見られるだろうかと、今から楽しみにしております。



柳原正昭（川越市）

ある日、羽音を軋ませながら頭上を掠めて飛ぶ軽鴨の、翼帯の紫と、足の赤橙色のコントラストに深く感動しました。その後、名も知らぬ鳥を一人で見ているだけではもの足りず、探鳥会に参加させていただきましたの



が、皆様を存じ上げるきっかけとなりました。ただそれだけの私を、暖かく迎えてくださるこの会が好きです。

3年度決算と4年度予算

[収 入]

項 目	3年度決算	4年度予算
期首繰越金	2,499,926	2,961,857
会費収入	2,865,100	3,000,000
寄付金収入	226,593	300,000
探鳥会等参加費	182,109	200,000
雑収入	124,172	100,000
仮入金	21,658	0
短期借入金	210,000	0
仮払金清算	12,334	0
補助金	200,000	350,000
事業部売上金額	2,807,864	2,000,000
合 計	9,149,756	8,911,857

[支 出]

項 目	3年度決算	4年度予算
什器備品費	154,440	500,000
消耗品費	80,797	100,000
支部報印刷費	1,064,000	1,500,000
支部報発送料	720,165	850,000
印刷コピー代	405,148	450,000
通信費	132,062	200,000
雑費	139,880	180,000
家賃	870,000	1,000,000
水道光熱費	49,224	60,000
総務部費用	85,321	110,000
普及部費用	83,057	110,000
編集部費用	33,940	40,000
研究部費用	0	100,000
事業部費用	11,970	20,000
短期借入金返済	30,000	210,000
事業部仕入額	2,327,895	1,600,000
期末繰越金	2,961,857	1,881,857

合 計 : 9,149,756 : 8,911,857

行事あんない



北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月2日（日）

集合：午前9時20分 北本観察公園駐車場

交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗して下さい（午前8時45分ごろから）

担当：岡安征也、榎本秀和、内藤義雄、吉原俊雄、関口善孝

見どころ：オオタカが舞う空は、まさに夏そのもの。でも、道端の植物の中には、早くも次の季節の気配が……夏のまんなかで、小さな涼しさを探してみましよう。今回は、埼玉県自然学習センターがオープンしてから最初の探鳥会です。

友人に三宅島に
行った時、ヤウザシラ
を見たという話を
したら、「見ただけ？
食べなかったの？」と
いわれてしまった。



（黒田佳子）

トキさん、ヤウザシラって
鳥はほんとに3つだけだ！

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般 100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会 埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月9日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷 9：06発または寄居9：03発に乗車

担当：菱沼一充、森本國夫、関口善孝、菱沼洋子

見どころ：川風に涼を求めて、荒川べりをぶらり。早くも渡りの旅を始めたキアシシギの姿が見られるかもしれません。森の中にはヤブミョウガの花がひっそりと咲いています。

神奈川県・多摩川河口探鳥会

期日：8月15日（土）

集合：午前10時 京浜急行大師線小島新田駅

交通：京浜急行品川 9：17発特急→京急川崎で大師線乗り換え 9：40発に乗車

担当：小林みどり、松井昭吾、草間和子

見どころ：渡りのシギ・チドリを迎え、干潟には、ひと足早い秋の気配。ちょうどニンゲンも大移動の季節、首都圏は空っぽ。いつもより空も澄んでいるし、鳥もイキイキしているみたい。

注意：帽子、水筒（飲物）をお忘れなく。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月16日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅

東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡部周司、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子、田口博司、馬場昇

見どころ：友達を増やそう。鳥影が少なくなる季節ですが、こんな時こそ自然のいろいろな面に目を向けるチャンス。草花、キノコ、虫たち、空の雲……いろんな友達を作りましょう。

ワイワイガヤガヤVTRを楽しむ会

とき：8月23日（日）午後1時～午後4時頃

会場：支部事務局

担当：伊藤芳晴、町田好一郎、菱沼一充

案内：大ブームのビデオ、ついにこんな会まで開催することになりました。あなたの作品を披露するもよし、担当の名（迷？）監督たちに撮影のコツを学ぶもよし、とにかくお集り下さい。

お願い：作品の発表時間は一人あたり15～20分です。あらかじめ、まとめておいて下さい。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月29日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局

案内：『しらこぼと』袋づめマニュアル：

1. 事務所に行く。2. 封筒に『しらこぼと』を入れる。3. 封筒を閉じる。4. 手があいたら、できたての『しらこぼと』をチラッと読む。5. まだ手があいていたら、お茶をのんで、おしゃべりする。以上。簡単でしょ。

野鳥写真クラブ定例会

とき：8月29日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：「ワイワイガヤガヤVTRを楽しむ会」で、作品をみんなに見せびらかす快感がクセになってしまった方、またまたチャンスですよ。

初級リーダー研修会

とき：8月30日（日）午前9時～午後4時

会場：浦和市立コミュニティセンター

申し込み：支部事務局または中島普及部長まで。

案内：埼玉県支部の会員数はついに1,900人を突破、2,000の大台にのるのも時間の問題。一方、リーダーは現在80人程度。はっきり言ってリーダー不足です。そこで今年もリーダーを募集します。鳥の識別能力とか、みんなの前でトウトウとしゃべる能力とか、そんなものには必要ナシ。資格は支部会員であることと、やる気があること、これだけです。

9月6日（日） 谷津干潟探鳥会

阪東大橋探鳥会

9月13日（日） 大麻生定例探鳥会

9月15日（火・祝）シギ・チドリ一斉調査

9月20日（日） 三室地区定例探鳥会

9月23日（水・祝）鐘撞堂山探鳥会

秋ヶ瀬探鳥会

9月27日（日） 入間川定例探鳥会

ワシタカ類一斉調査

伊良湖岬探鳥会（要予約）

期日：10月10日（土・祝）～10月11日（日）

費用：34,000円程度（交通・宿泊・弁当・保険その他）なお、交通は往復とも新幹線、路線バスを利用します。

定員：30名（先着順、県支部会員優先）

申し込み：通常葉書に住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記の上、中島康夫（〒

）までお

申し込み下さい。参加が決まった方には詳しい案内書を送付いたします。

担当：中島康夫、松井省吾

見どころ：サシバが、ハチクマが、チゴハヤブサが、次々に渡っていきます。そして思わず息を飲むハヤブサのハンティング。空いっぱいに繰り広げられる野生のドラマから、もう、目が離せません。今から首を鍛えておいて下さい。

浦和市の鳥情報

ハジロカイツブリ ◇4月17日、川越市の伊佐沼で黄金の飾り羽を輝かせた夏羽1羽。ただの普通のカイツブリとペアを組もうと一生懸命に追いかけておりました(中司隆由)。

カンムリカイツブリ ◇4月15日、戸田市道満調整池で♂1羽。きれいな夏羽でした(二村英克)。

ササゴイ ◇5月4日、戸田市道満の釣り堀で1羽(高橋美保子)。

チュウサギ ◇浦和市秋ヶ瀬の久保農耕地で5羽(海老原美夫)。

オオタカ ◇4月17日、所沢市の聖地霊園の上空で1羽(谷中 稔)。

ツミ ◇4月11日、所沢市中新井の雑木林で1羽(谷中 稔)。◇4月18日、浦和市中尾で1羽。カラスを攻撃する(海老原美夫)。◇4月18日、深谷市の千元山公園で2羽(菱沼一充)。

サシバ ◇4月26日、鳩山町石坂の雑木林上空を2羽。「ピックイー」と飛ぶ(渡辺敦)。

ハイロチュウヒ ◇4月16日、深谷市の上武大橋上流で♀1羽(井上幹男)。

ハヤブサ ◇4月7日、朝霞市の黒目川、岡橋下流で1羽。カラスにモビングされて、ものすごく高度を上げて東へ飛んでいった(二村英克)。

チョウゲンボウ ◇5月3日、寄居町用土谷

津で1羽(長谷部謙二他5名)。

クイナ ◇4月17日午前6時頃、浦和市立病院下の芝川で1羽(箕輪真澄)。

タマシギ ◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬のA'区で♀1羽(福井 亘)。

コチドリ ◇4月22日午前6時30分、桶川駅西口公園そばの空き地(ジャリ敷き)で4羽。「ピーピー」と駆け回りながら飛ぶ。昨年はここで抱卵したが、繁殖には失敗した(立岩恒久)。

ムナグロ ◇4月23日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。

ケリ ◇4月28日、浦和市秋ヶ瀬のA区で1羽。土手側の田んぼにいた。トラクターから逃げたり、カラスに追われたりしていた(馬場芳之)。

キョウジョシギ ◇4月8日、戸田市道満調整池の干潟で1羽(二村英克)。◇5月2日、浦和市秋ヶ瀬のA区で2羽(鈴木啓紀)。

トウネン ◇5月2日、浦和市秋ヶ瀬のA区で夏羽2羽(鈴木啓紀)。

オジロトウネン ◇4月23日、深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。

ウズラシギ ◇4月14日、浦和市秋ヶ瀬の久保農耕地で1羽(海老原美夫)。◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬のB区で2羽(福井 亘)。

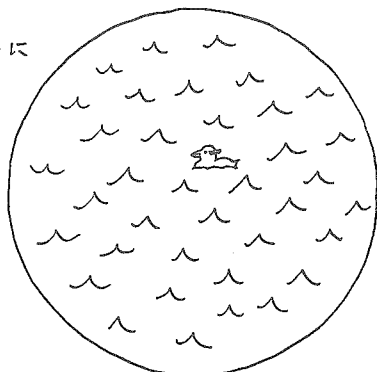
アオアシシギ ◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬のB区で2羽(福井 亘)。

キアシシギ ◇4月29日、戸田市道満調整池の干潟で1羽(高橋達也)。

チュウシャクシギ ◇4月23日、戸田市道満調整池上空を1羽(高橋達也)。

セイタカシギ ◇4月9日、浦和市秋ヶ瀬のB区の林の奥で1羽。小魚やザリガニを獲る。小魚は頭から飲み込む。中くらいのザリガニも頭から、10センチ以上もあるようなザリガニは、メスの時は尾の方から飲み込んだが、ハサミの立派なオスをつかまえた時は、ハサミが嫌なのか、くわえ直したりして考えていたが、結局すててしまった(二村英克)。◇4月11日、同所で1羽。田んぼの中で頭まで水中に入れて、餌を探していた(馬場芳之)。◇4月12日、同所

波のまにまに
ケシツアのように
見えた
エトビリカ



於 霧多布
'87. 6. 8

(加島弘敏)

で1羽(小谷野勝栄)。

アカエリヒレアシシギ ◇5月7日、戸田市
道満調整池で2羽(高橋達也)。

ツバメチドリ ◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬の
A' 区で1羽(福井 亘)。

コアジサシ ◇4月6日、戸田市道満で1羽
(高橋達也)。◇5月2日、浦和市秋ヶ瀬
のA区で2羽。あぜにとまって、あくびを
したり、羽づくろいをしたり(鈴木啓紀)。

ツツドリ ◇4月29日午前6時頃、三峰山で
1羽(山岸昭治)。◇5月4日、花園町の
武蔵野上郷で1羽(小淵健二)。◇5月5
日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽
(福井 亘)。

コミミズク ◇4月28日、深谷市の上武大橋
上流で1羽。草原から飛び立つ(井上幹男)。

アオバズク ◇4月25日午後10時30分頃、浦
和市原山の自宅付近で鳴き声を聞く(清水)。

アマツバメ ◇4月11日、志木市の秋ヶ瀬ダ
ム右岸で1羽(二村英克)。◇5月3日、
寄居町用土谷津で5羽(石井幸男他 5名)。
◇5月4日、浦和市秋ヶ瀬で2羽(高橋美
保子)。

ヤマセミ ◇4月25日、日高町の高麗川、ド
レミファ橋付近で♂1羽(谷中 稔)。

カワセミ ◇4月12日、浦和市の白幡沼で2
羽。交尾する(海老原美夫)。

アオゲラ ◇4月15日、上福岡市の自宅付近
で♂1羽。朝から大声で鳴いていた。おか
げで目が覚めた。はっきり言って安眠妨害
だった・・・(中村 治)。◇4月16日、
深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。
◇4月18日、入間市宮寺の狭山丘陵で1羽
(渡辺 敦)。◇4月25日、寄居町の鉢形
城本丸跡で1羽(小淵健二)。

アカゲラ ◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で
1羽(小淵健二)。

ビンズイ ◇4月25日、寄居町の鉢形城本丸
跡で1羽(小淵健二)。

ヒヨドリ ◇4月20日午前6時45分、桶川市
若宮の自宅上空を約50羽。南西から北東へ
おしゃべりしながら渡る(立岩恒久)。

モズ ◇4月18日、深谷市の上武大橋下流で
オスがトカゲを捕らえる。そのトカゲをメ



(黒田佳子)

スに与える。メスは木の小枝にトカゲをさ
すはやにえ行動をする(井上幹男)。

ルリビタキ ◇4月18日、三芳町の多福寺で
メス1羽。まだいたんですね(谷中 稔)。

ノビタキ ◇4月20日、狭山市の入間川、狭
山有料橋下の川原で♂♀各1羽。時々、舞
い上がってはフライングキャッチしていま
した(岩淵茂雄)。◇4月21日、深谷市
の上武大橋下流で♂1羽(井上幹男)。

クロツグミ ◇4月18日、入間市宮寺の狭
山丘陵で♂1羽。さえずる(渡辺 敦)。
◇4月25日、秩父市美の山でさえずり(山
岸昭治)。◇4月29日、三峰山で1羽(山
岸昭治)。◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山
で1羽。山の中でよくさえずっていました
(小淵健二)。

アカハラ ◇4月16日、深谷市の上武大橋下
流で1羽(井上幹男)。◇5月7日、戸田
市の戸田公園で1羽(高橋達也)。

シロハラ ◇4月7日、朝霞市の城山公園で
1羽(二村英克)。

ツグミ ◇4月25日、浦和市秋ヶ瀬の子供の
森でさえずる(鈴木啓紀)。

ヤブサメ ◇4月18日、入間市宮寺の狭山丘
陵で1羽(渡辺 敦)。◇4月18日、川越
市下松原で1羽(長谷部謙二)。◇4月22
日、鳩山町石坂の雑木林で1羽。あの特有
の声で鳴くが、どこにいるのやら(渡辺
敦)。◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で1
羽(小淵謙二)。

オオヨシキリ ◇4月21日、深谷市の上武大
橋下流で1羽。今春初認(井上幹男)。
◇4月23日、戸田市の戸田橋付近の荒川河

川敷で1羽(高橋達也)。◇5月1日、北本市石戸宿で3羽(立岩恒久)。

エゾムシクイ ◇4月21日、川越市下松原で1羽(長谷部謙二)。◇4月25日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(鈴木啓紀)。

◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で1羽(小淵謙二)。

センダイムシクイ ◇4月15日、川越市下松原で3羽(長谷部謙二)。◇4月18日、浦和市大谷口で1羽(海老原美夫)。◇4月18日、深谷市の千元山公園で1羽(菱沼一充)。◇4月18日、長瀬町の岩根山神社への山道で4羽(立岩恒久)。◇4月19日、秩父市美の山で2羽(山岸昭治)。◇4月25日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で3羽(鈴木啓紀)。◇5月2日、鶴ヶ島市高倉の林で♂1羽(中村 治)。◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で1羽(小淵謙二)。

キビタキ ◇4月18日、入間市宮寺の狭山丘陵で♂1羽(渡辺 敦)。◇4月24日、川越市下松原で♂1羽(長谷部謙二)。◇4月27日、秩父市美の山でさえずり(山岸昭治)。◇4月29日、三峰山で3羽(山岸昭治)。◇5月2日、鶴ヶ島市高倉の林で♂1羽(中村 治)。◇5月4日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♂1羽。さえずる(鈴木啓紀)。◇5月4日、戸田市の戸田公園で♂1羽(高橋達也)。◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で2羽以上(福井 亘)。

オオルリ ◇4月21日、川越市下松原で♂3羽。23日、24日にも1羽(長谷部謙二)。◇4月27日、秩父市美の山で若鳥1羽(山岸昭治)。

コサメビタキ ◇4月25日、奥武蔵自然歩道高麗峠付近で1羽(谷中 稔)。

エナガ ◇4月25日、寄居町の鉢形城本丸跡



センダイムシクイのあそび日

(高橋美保子)

で4羽(小淵謙二)。◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で4羽。幼鳥と一緒にいました(小淵謙二)。

ゴジュウカラ ◇4月29日、三峰山で求愛給餌(山岸昭治)。

アオジ ◇4月18日、入間市宮寺の狭山丘陵でさえずる(渡辺 敦)。

クロジ ◇5月3日、寄居町の鐘撞堂山で3羽(小淵謙二)。◇5月7日、戸田市の戸田公園、公園事務所わきの林で♂♀各1羽(高橋達也)。◇5月7日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♀1羽(高橋達也)。

イカル ◇4月18日、入間市宮寺の狭山丘陵で1羽(渡辺 敦)。◇4月28日、桶川市若宮の自宅付近でさえずる(立岩恒久)。

シメ ◇4月13日、三峰山の駐車場の上で約100羽(山岸昭治)。

ニューナイスズメ ◇滑川町の森林公園で10羽以上。薄緑色に萌えるコナラの梢で盛んに鳴き騒ぐ(逸見 嶮)。

コムクドリ ◇5月4日、戸田市道満の釣り堀横の林で5羽(高橋美保子)。◇5月5日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で♀1羽(福井 亘)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト 1991入選作品

オオソリハシシギ(シギ科)

8月に入ると早くも秋の渡りが始まる。梅雨明けからしばらく静かだったフィールドにも、また羽音が戻ってくる。夏の間林の中でツミの繁殖などを見ていたバードウォッチャーは、また、渡りのポイントに場所を移動する。

今年はどうな鳥に会えるだろう。

毎年変わらず巡ってくる季節を、何年たっても、心をおどらせて期待して待つ。

そして来年、また次の年……。いつまで続けられるだろうか。(海老原美夫・浦和市)

行事報告

12月8日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水池

☒ 29人 ☒ 天気 曇 ☒ 鳥 カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ キンクロハジロ スズガモ ミコアイサ カワアイサ トビ ノスリ チウウヒ セグロカモメ シラコバト キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(40種) 広大な貯水池に群れる数千羽のカモ。その中からミコアイサ、カワアイサやカンムリカイツブリなどを探し出す楽しみを味わった。また、冬枯れの草原の上を飛ぶチウウヒ、枯れ木に止まるノスリなど、渡良瀬の冬の風景を存分に楽しめた。

(中島康夫)

3月28日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

☒ 作業を楽しんだ人 青沼俊雄、荒木恒夫、伊藤宏、榎本菜摘野、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、遠藤薫、角田真喜子、神場真文、桜庭勇、墨江光子、中村治、羽石幸子、藤野富代、古沢厚良、渡辺孝章(17人)

3月28日(土) 写真クラブ定例会

☒ 参加者 22人

☒ 作品発表 スライド5人 ビデオ2人

3月29日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水池

☒ 13人 ☒ 天気 雨 ☒ 鳥 カイツブリ カンムリカイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ トビ ノスリ チ

ユウヒ ハヤブサ シロチドリ ユリカモメ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ ウグイス ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(42種) 雨の中、いつものように車に分乗してスタートした。近くの枯れ木に止まるハヤブサを発見して全員で長い時間十分に観察することができた。貯水池では、夏羽の美しいカンムリカイツブリやヨシガモ、コアジサシなども見られた。雨でもやっぱり渡良瀬はスバラシイ。今、色々と問題をかかえている渡良瀬だが、なんとか現在のまま残しておきたいものだ。

(中島康夫)

3月29日(日) 神奈川県三浦市 城ヶ島

☒ 8人 ☒ 天気 雨 ☒ 鳥 ウミウ ヒメウ クロサギ トビ コジュケイ セグロカモメ オオセグロカモメ ウミネコ キジバト ハクセキレイ ヒヨドリ モズ イソヒヨドリ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(22種) 朝から雨、それともかなりの降り方。にもかかわらず、遠い武蔵の国から、相模の国のそのまた果てまで来てくださった方々、どうもありがとうございました。皆さんの熱意が通じたのか、鳥の方は最高。まず、ウミウ展望台で、ウミウ、ヒメウはもちろん、岩壁に営巢中のクロサギをしっかりと確認。イソヒヨドリは、姿だけでなく美しい囀りも披露してくれた。参加者の中には、この日一日でライフリストを4種も増やしてしまったという方もいた。利休ねずみの雨の中、濡れねずみになって歩いた甲斐がありました。

(小林みどり)

4月5日(日) 川口市 差間
4月5日(日) 北本市 石戸宿
上記2ヵ所とも雨のため中止。

4月12日(日) 熊谷市 大麻生

人 53人 天気 曇 鳥 カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ハシビロガモ サシバ ハヤブサ チョウゲンボウ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ シロチドリ イソシギ コアジサシ キジバト アマツバメ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (44種) 去って行く冬鳥と、戻ってきた夏鳥が同時に観察できる4月。幸か不幸かどんよりとした曇り空で、河原では低空を飛行するアマツバメやイワツバメ、コアジサシなど、野鳥の森では、シメやヤマガラが観察されました。そして、多分今季県内初記録のサシバが上空を通過して行きました。(諏訪隆久)

4月19日(日) 浦和市 三室地区

人 60人 天気 曇 鳥 カワウ コサギ カルガモ コガモ コジュケイ コチドリ タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 天気予報では激しい雨ということだったが、参加者の行いが良くて、お昼まで天気もった。平成元年5月の一斉探鳥会以来の見沼の斜面林と代用水、芝川と畑、そして竹林、花と樹と鳥のコース。いつもとまた違った素晴らしい探鳥会であった。(楠見邦博)

4月24~26日(金夜~日) 東京都 三宅島

人 29人 天気 晴 鳥 オオハムSP コ

アホウドリ オオミズナギドリ アカアシミズナギドリ ハイイロミズナギドリ オーストンウミツバメ カツオドリ ウミウ ヒメウ ゴイサギ アマサギ ダイサギ チュウサギ コサギ トビ コジュケイ キジ バン メダイチドリ ムナグロ ダイゼン キョウジョシギ トウネン キアシシギ イソシギ ヒレアシシギSP ツバメチドリ トウゾクカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ ウミネコ カラスバト キジバト アオバズク ヒメアマツバメ アマツバメ ヤツガシラ コゲラ ツバメ コシアカツバメ イワツバメ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コマドリ ノビタキ イソヒヨドリ アカコッコ ウグイス ウチヤマセンニュウ イイジマムシクイ マミジロ キビタキ オオルリ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ イカル スズメ ハシブトガラス (64種) 今回も素晴らしい三宅島探鳥ツアー。アカコッコなどの特産種を満喫した上に、なんとヤツガシラが目と鼻の先で採餌している姿をじっくり見られました。マミジロキビタキを見た人も。夜は宿のおやじさんが釣ってきた魚の刺身の舟盛りに、町田さんのビデオで盛り上がりました。帰りの船からは、コアホウドリやオーストンウミツバメなどの海鳥も。いやあ、何度行っても、また行きたいバードアイランドです。(北川慎一)

4月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
が**んばった人たち** 荒木恒夫、岩波勇一、大竹忍、桜庭勇、篠原東彦、鈴木啓紀、墨江光子、丹茂子、馬場昇、藤野富代、渡辺敦 (11人)

4月25日(土) 写真クラブ定例会

参加者 13人

作品発表 スライド1人 ビデオ2人

ついにビデオのほうが多くなってしまった。だから、この報告にもなかなか写真が掲載できない。ううむ、こまったこまった。

5月3日(日) 茨城県 菅生沼

人 58人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワ
 ウ アマサギ ダイサギ チュウサギ コサ
 ギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガ
 ガモ ホシハジロ タカ S P チョウゲンボ
 ウ コジュケイ キジ バン オオバン コ
 チドリ イカルチドリ ムナグロ ツルシギ
 チュウシャクシギ シラコバト キジバト
 ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ
 モズ ツグミ ウグイス オオヨシキリ セ
 ンダイムシクイ ホオジロ カワラヒワ ス
 ズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
 ハシブトガラス (40種) アメリカの巡回大使
 一行4人が参加し、国際色豊かな探鳥会とな
 りました。田植えの始まった田圃では、たく
 さんのムナグロやアマサギが見られました。
 アシ原ではオオヨシキリがさえずり、上空を
 10数羽のチュウシャクシギが飛びました。沼
 では、お目当ての夏羽のツルシギ20数羽が見
 られました。いつ行っても十分楽しめる菅生
 沼です。 (中島康夫)

5月5日 (火、休) 本庄市 阪東大橋

人 58人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイ
 サギ コサギ マガモ カルガモ コガモ
 オナガガモ ハシビロガモ トビ キジ コ
 チドリ イカルチドリ ハマシギ イソシギ
 ツバメチドリ コアジサシ キジバト アマ
 ツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハク
 セキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
 ドリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カ
 ワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラ
 ス ハシブトガラス (33種) この日は「こど
 もの日」。集合場所の三脚に「ミニ鯉のぼり」
 を結び、皆さんを出迎えました。やがて、常
 連の方々や初参加の方々58名が笑顔で阪東大
 橋を訪れてくれました。お天気は上々だった
 のですが風が強く、リーダーは体を15度傾け
 て挨拶した位です。まずアマツバメが至近距
 離で御挨拶。牧草地の感触を全員で楽しみな
 がら、ウォーターフロントへ。ハシビロガモ
 やコガモの上空を何とコアジサシがスーイ
 スイ。カワセミは外出中でしたが、オオヨシ
 キリがコーラスの大サービス!! ツバメチドリは
 皆さんのすぐ頭の上まで空中散歩をしてくれ

ました。鳥さんたちどうもありがとう。そし
 て、参加者の皆さんお疲れ様でした。

(町田好一郎)

5月9日 (土) ~ 17日 (日) 熊谷市 アズ
熊谷 「環境を考える野鳥画展」

ボランティア 入山博、海老原教子、海老原
 美夫、大嶋己恵子、萩原信一、萩原光子、小
 淵健二、草間和子、楠見文子、佐久間博文、
 諸徳寺四郎、関口善孝、塚本典子、林滋、菱
 沼一充、福井恒人、逸見嶮、町田好一郎、森
 本國夫、吉田博、吉原俊雄 (21人) 自然の象
 徴である野鳥たちが、画家たちの目を通して
 息づき、環境問題を静かに語りかけていた。
 油絵と水彩画の吉田博画伯、俳画の諸徳寺四
 郎さんら、合わせて約40点を展示。騒がしい
 駅ビルの一角に、すばらしい世界が出現。入
 場者多数。写真とも一味違い、多くの反響に
 にぎわった。いつもお世話になっているスポ
 ンサーのアズ熊谷とアイリスメガネさん、あ
 りがとうございました。ボランティアの皆さ
 さん、ご苦労さまでした。 (海老原美夫)

5月10日 (日) 熊谷市 大麻生

5月10日 (日) 上尾市 丸山公園

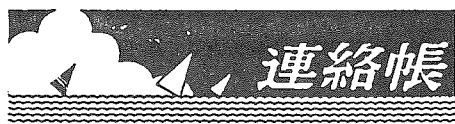
5月10日 (日) 大宮市 深作川

5月10日 (日) 浦和市 秋ヶ瀬

上記4カ所とも雨のため中止。

5月10日 (日) 川越市 西川越

人 7人 天気 雨 鳥 カワウ ゴイサギ
 ダイサギ コサギ カルガモ コガモ コジ
 ユケイ キジ コチドリ イカルチドリ イ
 ソシギ キジバト カワセミ ヒバリ ツバ
 メ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキ
 レイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス
 オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒ
 ワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハ
 シブトガラス (30種) 雨なので探鳥会は中止
 かなと思っていたら、熱心な参加者が来て、
 雨の中で始めました。始めてすぐにキジ 2
 羽が争っているのをじっくり見て、水上公園
 の中でカワセミ、ツグミを見て、ゆっくりし
 た探鳥会でした。 (佐久間博文)



ネチャーフォレスト 1992 作品募集

【作品対象】 ①野鳥部門 県内に生息する野鳥 ②その他の部門 県内の風景・昆虫・植物など（両部門とも、特別な背景でなければ県外の撮影でも可）

【募集期限】 9月10日まで

【応募資格】 当支部会員

【応募方法】 キャビネくらいのプリントにタイトルと種名、200字くらいのコメントを添え、スライド原版またはネガとともに支部事務局まで。

【ご注意】 マナーに反して撮影された作品は一切受けつけません。

入選作は、今年も11月に予定しているパネル展で展示するほか、『しらこぼと』の表紙など、さまざまな支部活動に1年間使用させていただきます。1年たちましたら、原版はお返しします。

第3回オオタカ保護シンポジウム

8月22日（土）午後1時、栃木県西那須野町「西那須温泉ホットピア・大鷹の里」で受付開始、現地視察・保護調査活動体験

8月23日（日）午前9時、同町三島公民館で受付開始、各地からの活動研究報告を交え、午後4時30分までワシタカ保護から見た「絶滅法」についてのシンポジウム

申し込みは、往復はがきに参加日程・宿泊希望の有無を明記、320 宇都宮市星ヶ丘2-2-10-101日本野鳥の会栃木県支部（0286-25-4051）へ。宿泊参加（15,000円）は7月末、シンポのみ（500円）は8月10日まで。

「鳥」をめぐるお話と講演・展覧会

【連続放談】 8月4日（火）～6日（木）午後6時～7時30分 樋口広芳（研究センター所長）加藤幸子（本会理事）ほか音楽家・デザイナーなどが「鳥」について語ります。

【国際シンポジウム】 国境を越える鳥たち

の声 8月7日（金）6時30分～8時30分

【展覧会】 8月4日（火）～8日（土）

場所：北とぴあ（王子駅東口徒歩1分）

主催：グリーンボックス 後援：日本野鳥の会 入場無料 問合せ先 浜田または 島田

8月の土曜日当番（2時～6時）

1日 中島康夫 楠見邦博（普及部会議）

8日 立岩恒久 馬場 昇

15日 山部直喜 海老原美夫（編集会議）

22日 渡辺 敦 小野光明

29日 袋づめの会（1時から）

会員数は

7月1日現在 1,951人です

活動報告

6月6日 普及部会議。

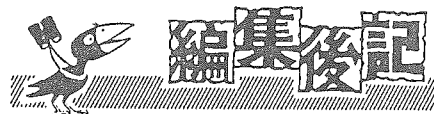
6月13日 研究部会議、編集部会議。

6月21日 役員会議（司会・石川敏男、各部の報告・次期評議員推薦・三室 100回記念・総会準備・その他）。

6月27日 総会資料など準備作業。

6月28日 役員会議（司会・海老原美夫、4年度役員体制・その他）。

6月30日 北本自然学習センターのオープン式典出席（海老原・榎本・内藤・吉原・福井）。



お～お、すっきりした。出た、出た。やっと出しきった。え、何が？ だいぶ月遅れになっていた野鳥情報と行事報告ですよ。ン年前は原稿集めに四苦八苦し、カットと写真で紙面をうめたこともあったのに、何たる幸せ。これも、会員数もうすぐ2,000名のパワーです。おかげでさえずりと地鳴きコーナーを今回は割愛。ということは、それらが又々たまってきて……。 （山部直喜）

『しらこぼと』1992年8月号（第99号）

定価 100円（会員の購読料は会費に含まれます）

発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048（832）4062

〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町 107号 郵便振替 東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

（本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）